

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	心理学コース(心理学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）										コースのディプロマ・ポリシー（学位授与方針）									
人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問（コース・専門分野）の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士（文学）の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を入りと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。										心理学コースでは、人間の行動・認知・思考、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする心理学コースの専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士（文学）の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学コースの学習成果を上げた者とする。									
学類・コースのCP（カリキュラム編成方針）										コースの学習成果（◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目）									
学類・コースのCP（カリキュラム編成方針）										コースの学習成果（◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目）									
【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。 【コースのCP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。										人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身に付ける 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う									
主履修分野のカリキュラム																			
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4												
41051	心理学概論1	心理学の考え方や研究法を学び、感覚・知覚・学習・記憶・思考・感情などの領域の基礎知識を習得する。	1	*	*			◎									○		
41052	心理学概論2	発達・社会・パーソナリティ・臨床などの領域における心理学の研究の基礎知識が修得できるようにする。	1			*	*	◎									○		
41010	心理統計法1	心理学に関連する基本的な統計的手法、特に、代表値、散布度、正規分布、相関と回帰、母集団と標本、統計的仮説検定、の基礎原理について理解し、使用できるようになる。	2	*	*			◎									○		
41011	心理統計法2	心理学に関連する基本的な統計的手法、特に、分散分析と要因計画、および各種ノンパラメトリック検定の基礎原理について理解し、使用できるようになる。	2			*	*	◎									○		
41053	心理学基礎実験1	心理学の基礎的実験方法に習熟するとともに、基本的事実と理論を学習することをめざす。	2	*	*			◎											
41054	心理学基礎実験2	心理学の基礎的実験方法に習熟するとともに、基本的事実と理論を学習することをめざす。	2			*	*	◎											
41025	心理学実験法	心理過程の仮説検証に必要な技術について、特にパソコンのハードウェアならびにプログラミング言語の理解を目指す。	3	*	*			◎									○		
41024	心理学調査法	調査法の基本的な作成、施行方法や、データ解析方法および統計解析ソフトウェアの使い方を習得する。	3	*	*			◎									○		
41055	心理学実験・調査演習A	自らの興味にもとづき各自に研究課題を定め、実験または調査の計画を立て、自らデータを収集し、分析し、それらを考察して総合することをめざす。	3			*		◎		◎					◎				
41056	心理学実験・調査演習B	自らの興味にもとづき各自に研究課題を定め、実験または調査の計画を立て、自らデータを収集し、分析し、それらを考察して総合することをめざす。	3				*	◎		◎					◎				
41057	心理学実験・調査演習C	自らの興味にもとづき各自に研究課題を定め、実験または調査の計画を立て、自らデータを収集し、分析し、それらを考察して総合することをめざす。	3	*				◎		◎					◎				
41058	社会心理学A	社会心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○									◎		
41059	社会心理学B	社会心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○									◎		

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	心理学コース(心理学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)					コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)				
人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を入りとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。					心理学コースでは、人間の行動・認知・思考、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする心理学コースの専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学コースの学習成果を上げた者とする。				
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)					コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)				
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)					コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)				
【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。 【コースのCP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。					人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身に付ける 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う				
主履修分野のカリキュラム									
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4		
41060	対人関係論A	対人関係の心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○	◎
41061	対人関係論B	対人関係の心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○	◎
41062	心理学特殊講義A	心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようになる。	2-4					○	◎
41063	心理学特殊講義B	心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようになる。	2-4					○	◎
41064	神経心理学A	人の心の働きや行動の諸現象と、その基盤となる脳神経系の働きに関する基礎的知識を習得する。	2-4					○	◎
41065	神経心理学B	人の心の働きや行動の諸現象と、その基盤となる脳神経系の働きに関する基礎的知識を習得する。	2-4					○	◎
41066	知覚心理学A	感覚知覚の諸現象やそれらの諸特性、並びに感覚知覚認知過程について学び、心の諸現象における感覚知覚の役割を理解する。	2-4					○	◎
41067	知覚心理学B	感覚知覚の諸現象やそれらの諸特性、並びに感覚知覚認知過程について学び、心の諸現象における感覚知覚の役割を理解する。	2-4					○	◎
41068	認知心理学A	認知心理学に関する専門的知識を習得するとともに用いられる研究法や研究成果への理解を深める。	2-4					○	◎
41069	認知心理学B	認知心理学に関する専門的知識を習得するとともに用いられる研究法や研究成果への理解を深める。	2-4					○	◎
41070	学習心理学A	学習心理学の中でも、馴化・鋭敏化、古典的条件づけの研究法、基本的現象、説明理論について理解する。	2-4					○	◎
41071	学習心理学B	学習心理学の中でも、オバレント条件づけ、社会的学習の研究法、基本的現象、説明理論について理解する。	2-4					○	◎
41072	比較心理学A	比較心理学の中でも、知覚、記憶、学習に関する研究法と諸現象について理解できるようになる。	2-4					○	◎
41073	比較心理学B	比較心理学の中でも、概念形成、推論、道具使用、自己認知、社会的認知に関する研究法と諸現象について理解できるようになる。	2-4					○	◎
41074	人格心理学A	人格心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○	◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	心理学コース(心理学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)								コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)							
人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。								心理学コースでは、人間の行動・認知・思考、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする心理学コースの専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学コースの学習成果を上げた者とする。							
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)								コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)							
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)								コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)							
【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。 【コースのCP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。								人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身に付ける 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う							
主履修分野のカリキュラム															
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4								
41075	人格心理学B	人格心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○						◎	
41076	青年心理学A	青年期の発達に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○						◎	
41077	青年心理学B	青年期の発達に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○						◎	
41078	臨床心理学A	臨床現場に適用して実践可能な臨床心理学の諸技法が修得できるようになる。	2-4					○						◎	
41079	臨床心理学B	臨床現場に適用して実践可能な臨床心理学の諸技法が修得できるようになる。	2-4					○						◎	
41080	健康心理学A	健康心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○						◎	
41081	健康心理学B	健康心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようになる。	2-4					○						◎	
41083	学習心理学演習A	学習心理学の概説的な文献の購読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を購読する能力を身に付ける。	2-4					◎				○		○	
41084	学習心理学演習B	学習心理学における各論的な文献の購読を通じて、学習理論に関する理解と英語論文を購読する能力を身に付ける。	2-4					◎				○		○	
41085	比較心理学演習A	比較心理学の基本的文献の購読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を購読する能力を身に付ける。	2-4					◎				○		○	
41086	比較心理学演習B	比較心理学のテーマ別の文献購読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を購読する能力を身に付ける。	2-4					◎				○		○	
41087	行動分析学演習A	行動分析学の概説的な文献の購読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を購読する能力を身に付ける。	2-4					◎				○		○	
41088	行動分析学演習B	行動分析学の各論的な文献の購読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を購読する能力を身に付ける。	2-4					◎				○		○	
41089	知覚心理学演習A	人の知覚認識に関する現象とその特徴、ならびにその心理学的研究について学ぶ。	2-4					◎				○		○	
41090	知覚心理学演習B	人の知覚認識に関する現象とその特徴、ならびにその心理学的研究について学ぶ。	2-4					◎				○		○	
41091	神経心理学演習A	認知過程ならびに様々な心理過程をもたらす脳神経基盤とそれらの障害について学ぶ。	2-4					◎				○		○	

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	心理学コース(心理学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)										コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。										心理学コースでは、人間の行動・認知・思考、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする心理学コースの専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学コースの学習成果を上げた者とする。									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)										コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)										コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。 【コースのCP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。										人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身に付ける 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う									
主履修分野のカリキュラム																			
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4												
41092	神経心理学演習B	認知過程ならびに様々な心理過程をもたらす脳神経基盤とそれらの障害について学ぶ。	2-4					◎								○		○	
41093	基礎心理学演習A	基礎心理学に関する文献講読を通して専門的知識を習得し、研究全般への理解を深める。	2-4					◎								○		○	
41094	基礎心理学演習B	基礎心理学に関する文献・資料を通して研究法、データの分析・解釈などの知識や技術を習得し、研究全般への理解を深める。	2-4					◎								○		○	
41095	応用心理学演習A	応用的分野の心理学の基礎的文献の講読およびデータの考察を通して、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎								○		○	
41096	応用心理学演習B	応用的分野の心理学の基礎的講読およびデータの考察を通して、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎								○		○	
41097	人格心理学演習A	人格心理学の基礎的文献の講読およびデータの考察を通して、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎								○		○	
41098	人格心理学演習B	人格心理学の基礎的講読およびデータの考察を通して、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎								○		○	
41099	青年心理学演習A	青年心理学に関する文献講読を通して専門的知識を習得し、研究全般への理解を深める。	2-4					◎								○		○	
42601	青年心理学演習B	青年心理学に関する文献・資料を通して研究法、データの分析・解釈などの知識や技術を習得し、研究全般への理解を深める。	2-4					◎								○		○	
42602	臨床心理学演習A	臨床心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎								○		○	
42603	臨床心理学演習B	臨床心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎								○		○	
42604	健康心理学演習A	健康心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎								○		○	
42605	健康心理学演習B	健康心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎								○		○	
42606	認知行動療法演習A	認知行動療法に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎								○		○	

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	心理学コース(心理学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)										コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を入りとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。										心理学コースでは、人間の行動・認知・思考、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする心理学コースの専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学コースの学習成果を上げた者とする。									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)										コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)										コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。 【コースのCP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。										人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う									
主履修分野のカリキュラム																			
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4												
42607	認知行動療法演習B	認知行動療法に関する英語文献の読解を通して、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎						○			○		
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・心理学における研究課題を設定することを通して科学的な研究の技法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。												◎		◎			
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・研究計画に沿った適切な研究方法を検討し実施する。 ・得られたデータを総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。												◎		◎			
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。												◎		◎			
11057	人文学序説A	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)、サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。	1	*		(*)		○											
11058	人文学序説B	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	(*)		○											
11059	人文学序説C	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・哲学・歴史学分野における具体的な研究実践やテキスト(文献)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1	(*)		*		○											
11060	人文学序説D	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・言語や文学に関するテキスト(文献)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1		(*)	*		○											
11061	学類共通英語A	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3	*										◎					

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	心理学コース(心理学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)							コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)						
人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を入りと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。							心理学コースでは、人間の行動・認知・思考、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする心理学コースの専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学コースの学習成果を上げた者とする。						
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)							コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)						
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)							コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)						
【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。 【コースのCP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。							人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる	実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる	数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける	自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる	外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める	実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる	心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う
主履修分野のカリキュラム													
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4						
11062	学類共通英語B	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語A」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3		*						◎		

※（*）は年度によって開講時期が異なることを示します。